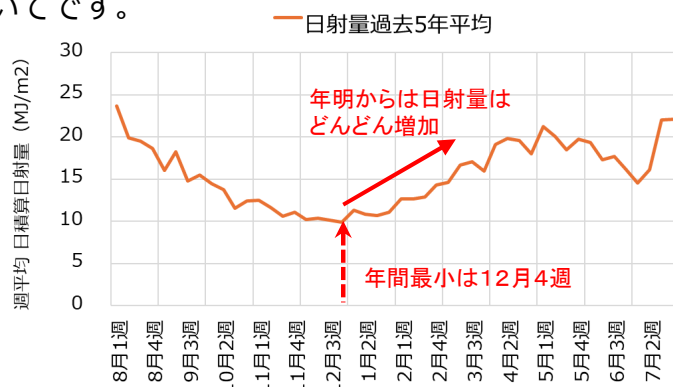


新年あけまして、おめでとうございます！本年も宜しくお願い申し上げます。
新年1発目のトピック記事は、「灌水管理」についてです。

季節はこれから冬本番ですが、右のグラフを見ていただくと、日射量は12月4週が最小となり、その後は増加していきます。

ハウス内は温度管理がある程度自由に行うことができるので、灌水量は日射量に合わせて決定するのが理想です。

***ハウス内は年明け以降は「春」と考える！**



【灌水の開始と終了時刻について】

右の表は愛知県豊橋市の日の出日の入り時刻の推移です。年明け以降、おおよそ日の出は月30分早く、日の入りは月30分遅くなっていきます。

灌水の開始と終了は日の出日の入りを基準にするのが基本ですので、よくある15分刻みのツメを折るタイマーを使っている場合は、2週間に1度は設定の見直しが必要ということになります。

***こまめにタイマー設定を変更していますか？**

愛知県豊橋市の日の出、日の入り時刻の推移

	日の出時刻	日の入り時刻	日長時間
2026年1月1日	6:59:01	16:50:56	9時間51分55秒
2026年2月1日	6:50:26	17:19:59	10時間29分33秒
2026年3月1日	6:21:44	17:46:56	11時間25分11秒
2026年4月1日	5:39:08	18:11:58	12時間32分50秒

参照 https://sunrise.maplogs.com/ja/toyohashi_aichi_prefecture_japan.71010.html

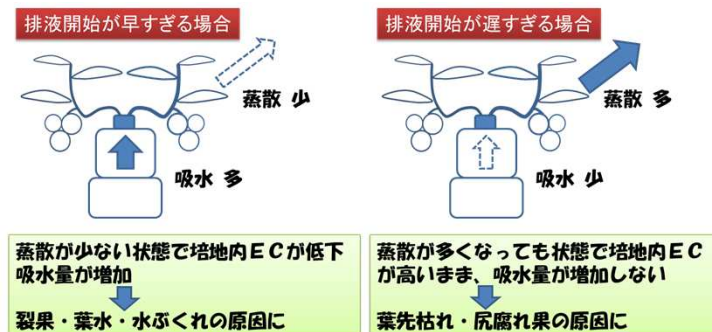
【排水出始めタイミングと排水率について】

ココバッグのような隔離培地の場合、給液の20-30%は排水として掛け流すのが基本となります。1日の排水率をチェックするのは多くの方が実践されていますが、排水の出始め時刻まで毎日記録されている方は少ないのではないのでしょうか。

右のイメージは排水の出始めが早い場合と遅い場合での植物の反応を示したものです。排水出始めが遅いということは培地内の培養液が濃縮された状態で水分ストレスの掛かった状態と言えます。逆に早い場合は培地内の水を植物が早く吸える状態になっていると言えます。

排水率が多いから水分は足りている、と思っていたら、実は排水の出始めが遅く、水分ストレスが過剰に掛かっていた、という場合は春以降は特に多いと思われます。

***排水率だけでなく、排水出始めの時刻を毎日チェックしていますか？**



【研究農場での灌水管理】 * 2025/12/19

右の図は研究農場キュウリ栽培（ココバッグ）での培地含水率と日射量のグラフです。日の出直後から給液を始めて、10時頃に含水率が頭打ちになっています。ちょうどこのタイミングで排水が出始めます。排水の出始めは冬季なら日の出2～3時間後を目安として灌水設定の調節をしています。

排水の出始め時刻は、弊社「はいえき当盤」や、(株)誠和「プロトラッカー」で記録できますので、ご興味のある方は是非研究農場までお問い合わせください！

